

# 河野地区

## 第2期地域福祉活動計画

(令和7年～令和11年)

ささえ合う  
雄甲・雌甲の愛の里



河野地区社会福祉協議会  
(河野地区地域福祉活動計画策定委員会)



夫婦の仲も おつまじい 雄甲・雌甲の柱石<sup>かぶといし</sup> 甲石など 名も高い

【河野名所づくしより】

<sup>おん ごう やま</sup>  
【雄甲山】

雌甲山のすぐ東にあり同じ様な形をした山が雄甲山で、中世にお城がありました。

高さが238メートル余りです。

南北朝時代に北朝方にあった河野通盛の子の通遠が城を守っていました。

河野氏の本拠土居館（のちの善応寺）を守るため隣にある雌甲城とともに重要な城でしたが、1585（天正13）年、河野氏滅亡の後、廃城となりました。

<sup>めん ごう やま</sup>  
【雌甲山】

善応寺のすぐ背後にある高さ192メートル余りの山で、中世にお城がありました。

河野通盛が道後の湯築城に移った後も善応寺を中心とした風早郡河野支城の1つとして重要な城でした。

1585（天正13）年、河野氏が滅亡したのちは廃城となりました。

## 地域福祉活動計画の策定にあたって

この度、河野地区社会福祉協議会では松山市社会福祉協議会の推進計画に併せて「ささえあう 雄甲・雌甲の愛の里」を基本理念とした、地域福祉活動計画を策定する運びとなりました。

北条地域は、源平時代の郷土の豪族河野氏がその名を史書に記されておりますように、多くの歴史的文化遺産や行事が地域内各所で継承されております。その中で河野地区は、東に高縄山、西に斎灘が広がり、高縄山源流より河野川と高山川が流れ、初夏には蛍が飛び交う、自然に恵まれた里山の風情を残す地域です。

河野氏の郷であり、近江聖人と呼ばれている中江藤樹や、俳句の巨匠高浜虚子ゆかりの地でもあり、歴史と文化の地と言えるでしょう。人情に厚く、隣同士が助け合い、支え合いが自然な形で営まれている地域でもあります。

河野地区社会福祉協議会は地域住民皆様の「たすけあい」の志のもと、すべての地区住民皆様の幸せと福祉の増進のため、役員一同福祉活動を続けてまいります。

少子高齢化が進み地域のコミュニティの希薄化が心配されていますが、自他の敬愛、老若男女ごぞつての助け合いの精神の向上を目指しながら、河野地区社会福祉協議会の活動の原点を見直し、基本理念に基づいた地域福祉活動計画を策定致しました。行政や関係団体の力をお借りして、役員一同この活動を推進していきたいと思っております。どうか、皆様におかれましては、今後とも河野地区社会福祉協議会の活動をご理解頂き、ご支援ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、この度の計画策定にあたり策定委員の皆様はじめ、松山市社会福祉協議会担当者の方々にご意見、ご指導を頂きましたことを厚く感謝申し上げます。

河野地区社会福祉協議会  
会長 渡部 秀司



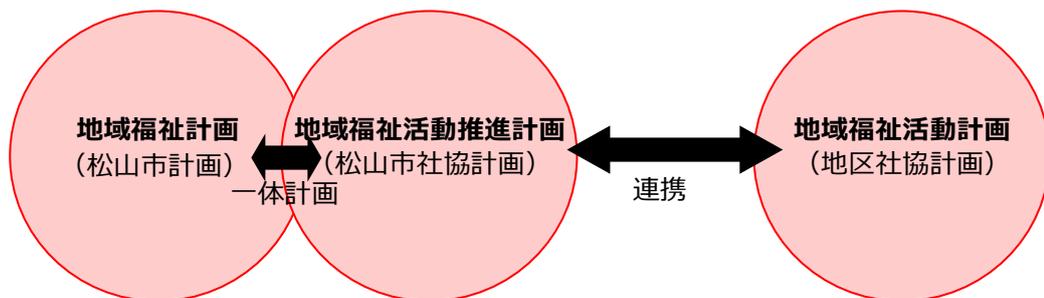
## 目 次

地域福祉に関する計画の連携と比較	P 1
地域カルテ	P 2～P 3
河野地区地域福祉活動計画	P 4 ～P 6
河野地区社会福祉協議会の活動紹介	P 7 ～P 8
河野地区内の主な神社と風早八十八か所	P 9～P 12
河野地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況	P 13
河野地区地域福祉活動計画策定委員会名簿	P 14

## ■ 松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【イメージ図】



【地域福祉に関する計画の比較】

計画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市・松山市社協	河野地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5年	5年
基本目標 (基本理念)	みんなが参加し つながり支えあう 共生のまちづくり	<ささえ合う雄甲・雌甲の愛の里>
計画の特徴	<p>目標1 支えあいの心を育む</p> <p>目標2 みんなが主役になれる環境づくり</p> <p>目標3 丸ごと支援のしくみづくり</p> <p>目標4 福祉サービスの向上と適切な利用の促進</p> <p>以上の4項目を個別目標に掲げ、住民一人ひとりや住民組織、ボランティアグループ、NPO等の関係団体、学校、事業所等、地域の多様な主体がそれぞれの役割を担いながら、互いにつながり、支えあうことで、“誰もが暮らし続けたい”と思えるまちづくりを目指します。</p>	<p>① 啓発活動の推進</p> <p>② 分会活動の充実</p> <p>③ 福祉サービスの向上</p> <p>④ 諸団体との連携</p> <p>⑤ その他</p> <p>の5項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開する。地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、地区社協の基盤強化を図る。</p>

# ここの 河野地区

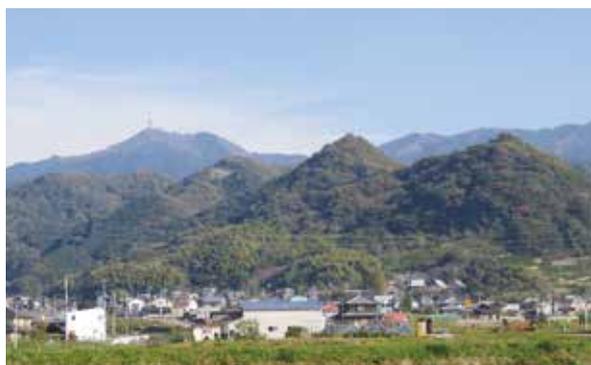
人口:5,144人(高齢化率35.7%)  
世帯数:2,453世帯 令和7年1月現在



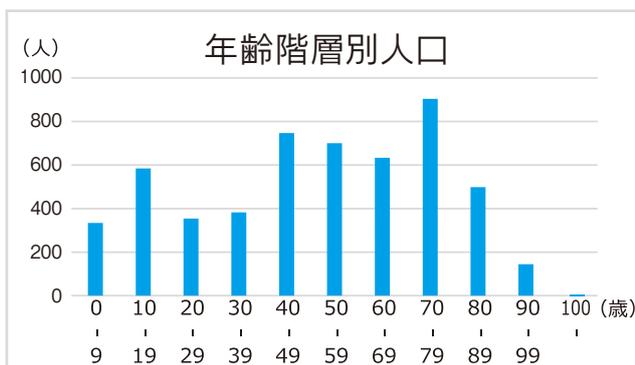
## 【地区の特色】

かつて風早郡の中心であった中世伊予の支配者河野氏発祥の地域。豊かな伝統文化と風土に恵まれ、住民は質実剛健の気質、公民館行事にも積極的で知られる。

地域の中で心のふれあいを大切に、潤いある明るく住みよいふるさと河野づくりをめざしている。



雄甲山・雌甲山



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の「文化の森」には図書館、児童センター、保健センター、市社協北条支所、包括支援センター北条、公園などがあり便利</li> <li>・公共の施設が充実している</li> <li>・住民同士の横のつながりが強い ・環境がよい ・住みやすい</li> <li>・病院・介護施設が充実している</li> <li>・中江藤樹のゆかりの地 ・高浜虚子(俳人) ・仙波花叟(俳人)</li> <li>・別府遺跡 ・自然が豊か(蛭) ・オオキトンボの生息地</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が高い ・高齢世帯の増加</li> <li>・役員の高齢化 ・後継者不足</li> <li>・空き家の増加</li> <li>・地区によって人口の差がある</li> <li>・高齢クラブ(2団体)の担い手不足や加入者の減少により連合会の維持に苦慮している</li> <li>・動物(猪・猿・鹿・ハクビシン)による作物被害</li> </ul>
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体役員の高齢化、後継者不足</li> <li>・高齢者世帯の増加</li> <li>・空き家の増加</li> <li>・地域行事への参加者が限られている</li> <li>・独身者が多く、今後独居高齢者になる恐れがある</li> <li>・サロン活動の運営、継続が困難</li> </ul>

# 河野地区社会福祉協議会

ささえ合う雄甲・雌甲の愛の里

<b>構成団体</b>	地区民協・区長会・日赤奉仕団・小学校・中学校・PTA・高齢クラブ・公民館 交通安全協会・議員・まち協・自主防災連合会・女性防火クラブ・消防団
-------------	---

主な取り組み	活動内容
河野ふれあい広場	毎月第1土曜日、昼食を食べたりおしゃべりをしたり、高齢者から小さな子どもまで世代を問わず交流できる場となっています。
ふれあい グラウンドゴルフ大会	60歳以上の住民を対象に毎年開催しています。毎回100名を超える参加があり、健康増進や住民の交流の場となっています。
福祉研修会	サロン参加者や福祉推進委員（※地区社協独自のネットワークづくりによる近隣のお世話役）を対象に、地域福祉活動の活性化に繋がるように毎年、講師を迎え開催しています。

## 給食サービス&敬老訪問～小学生の手紙を添えて～

70歳以上の独居高齢者、寝たきり高齢者宅へ民生委員と福祉推進委員（※）が年3回お弁当をお届けしています。

敬老の日には地元の海産物やお菓子、河野小学校児童の手紙を添えてお届けしています。毎年、児童へお礼の手紙をくださる方もおり、大変喜んでいただいています。



### <地区社協が目指すもの>

少子高齢化が進み地域コミュニティの希薄化が心配されています。誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らせる温もりのある地域社会を作り上げていくために地域住民との連携により地域福祉向上に貢献することが大切です。啓発活動として各種サロン活動の充実及び支援や福祉サービスとしての給食サービス（年3回）を継続していきます。また、世代を超えて交流できるふれあい広場の新設にとともに、ボランティア団体やまちづくり協議会等と連携することで災害時の緊急支援にも取り組んでいきたいと思ひます。

<b>地区の状況</b>	■地区民協	10名 2名	■町内会・自治会・区長会等	15団体
	民生委員		■高齢クラブ	2クラブ
	主任児童委員		■愛護班	12団体
	■まち協の設立	平成31年度	■自主防災組織	14組織

河野別府公園（北条文化の森公園）は、松山市社協北条支所をはじめ、児童センター、保健センター、地域包括支援センター、図書館、北条ふるさと館など文化施設やスポーツ施設が集まり、様々な暮らしの用途に合わせた余暇活動の充実や、保健・福祉相談といったワンストップでの対応を可能にしています。こうした環境をうまく活かしすべての住民を対象とした「河野ふれあい広場」や、「給食サービス&敬老訪問」などは、幅広い世代が交流できる機会と場を創造し、コミュニティ結束のさらなる強化につながるといえるでしょう。



# 河野地区地域福祉活動計画

## 1. 基本理念

ささえ合う 雄甲・雌甲の愛の里

## 2. 基本計画

### (1) 啓発活動の推進

実施計画	年度計画					5年計画
	7	8	9	10	11	
理事会・総会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	理事会2回、総会1回（年度始め）を継続して開催する。
役員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	毎月1回開催しており、活動の充実、役員同士の連携強化に努める。
地区社協だより「ふれあい河野」の発行	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して編集部により内容の充実を図り実施する（2回/年）。区長の協力のもと全戸配布を継続して行う。
活動資金の確保	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して区長・民生委員等の協力のもと、社協会費及び共同募金活動の強化を図る。（社協会費1戸500円）
サロン活動の充実	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	ふれあいいいききサロン1カ所、緩和型サロン5カ所の支援を継続して実施し、住民の交流の場の促進に努める。
小地域ネットワーク活動の推進	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	対象者の日常生活を地域ぐるみで支援できるよう、福祉推進員（近隣のお世話役）や分会関係者（民生委員、区長他）の活動の支援を行う。
介護保険制度の理解と推進	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域包括支援センターと協力し、介護保険の適正な利用の周知を行い、相談できる体制の強化を図る。
認知症の理解と啓発	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域包括支援センターと協力し、認知症サポーター養成講座の開催や相談できる体制の強化を図る。

## (2) 分会活動の充実

実施計画	年度計画					5年計画
	7	8	9	10	11	
小学校との交流学習	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	小学校とのより一層の連携を図り、福祉学習の交流事業を継続して実施する。
児童クラブとの協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	児童クラブとの交流事業の協力を継続して実施する。
各種団体への支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	サロン、各種団体や自主活動のグループに対して、助成金を交付し、活動を支援している。
福祉研修会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	サロン参加者や福祉推進委員を対象に、地域福祉活動の活性化につながるような内容とした研修会の開催を行う。
分会長・福祉推進委員への支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	研修会等を通じて、情報交換等の場をつくり、福祉推進の向上に努めている。

## (3) 福祉サービスの向上

実施計画	年度計画					5年計画
	7	8	9	10	11	
給食サービス事業 (年3回)	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	70歳以上の独居高齢者、寝たきり高齢者宅へ民生委員と福祉推進委員が年3回お弁当等を配布する。
高齢者敬老訪問	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地元の海産物やお菓자에併せ、河野小学校児童の手紙を添えて配布する。
ふれあい グラウンドゴルフ大会	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	60歳以上の住民を対象に開催。健康増進や住民同士の交流の場となるよう実施する。
河野ふれあい広場 (ふれあい食堂)の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	毎月第1土曜日、高齢者から小さな子どもまで、昼食を食べたりおしゃべりをしたり、体操やゲームを通して交流を図る。

#### (4) 諸団体との連携

実施計画	年度計画					5年計画
	7	8	9	10	11	
公民館事業との協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	今後もより一層の協力体制強化を図る。
区長会・民協との協働	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	福祉だよりの配布協力、共同募金への協力。 社協会費徴収への協力。
自主防災会との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	自主防災、地区防災組織との連携のあり方を検討し充実を図る。
地域包括支援センターとの連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	健康講座・健康相談・独居高齢者の見守りを実施する等、包括支援センターとの連携強化を図る。
まちづくり協議会との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	まちづくり協議会との連携を深め、行事への参加協力を行う。
ボランティア団体との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内のボランティア団体と協力し、地域活動の充実を図る。

# 河野地区社会福祉協議会の活動

## 定期総会



## 福祉研修会



ハガキ作り（年賀状や暑中見舞い葉書など）

## 敬老訪問と給食サービス

70歳以上の「独居高齢者」「寝たきり高齢者」宅を訪問して、近況確認や季節に合わせて飲み物やお菓子、お弁当、小学生のメッセージを届ける活動をしています。



## グラウンドゴルフ大会



グラウンドゴルフを通して  
地域住民が交流

広報誌「ふれあい河野」  
年2回発行、地区内全戸と  
関係先に届けています。

## 小学校の教育活動支援



おじいちゃま おばあちゃまへ

お元気ですか？

僕は、将来プロ野球選手になりたいので、  
日々の練習を元気に頑張っています。来週には  
大会があるので全力をつくして、優勝  
したいです。そして、今月中には修学旅行  
があります。平和についてしっかり勉強してき  
たいと思います。まだまだ、暑いが続きますが、健康  
に気を付け、元気にお過ごしください。北川蓮より



# 「河野ふれあい広場」

毎月第1土曜日開催



健康チェックし、「ゆげゆげ体操」で体と気持ちをほぐして、今日も楽しく始めよう！！



七夕飾りに夢を託して

いろいろな遊びで楽しい一時



真剣な眼差しで挑戦



4世代揃って参加の家族も

毎月趣向を凝らしたメニューが並ぶ



真心込めて作りました。召しあがれ



## 河野地区内の主な神社と風早八十八ヶ所

### ○ 神社

#### 高縄神社

宮内地区

河野地区の総氏神として祭祀されている。

【主祭神】 天照大神 大山積神 高竈神 鳴雷神



参道入口の鳥居、参道奥の石段の上に社殿がある。 山門を抜けた正面に【拝殿】その奥に【本殿】  
保延2年、河野親清が現在の宮内に奉還して高縄三島神社と称し、歴代の河野一門の氏神として  
祭祀を行った。秋祭りには参道でダンジリの練りが、4月に境内で小学生の奉納相撲が行われている。

#### 風早大神宮

河野別府地区

(境内に新田神社がある)

【主祭神】 天照大神 豊麦大神

(配神:二宮尊徳・新田義貞公)



正面の景観。右側の社は「新田神社」



風早大神宮の拝殿、本殿は奥にある。

別府村の名本種五郎が48年間で65回の伊勢参宮を果たし、特別に権太夫の称号を与えられ、享保  
11年、伊勢神宮の勸請認可を受け、社殿を建造した。明治・大正時代には近隣の人々がこの伊勢宮様  
詣をして賑わった。 通称＝伊勢宮様

## 三穂神社

## 柳原地区

【主祭神】 大国主神 事代主神 蛭子神



三穂神社境内 入口

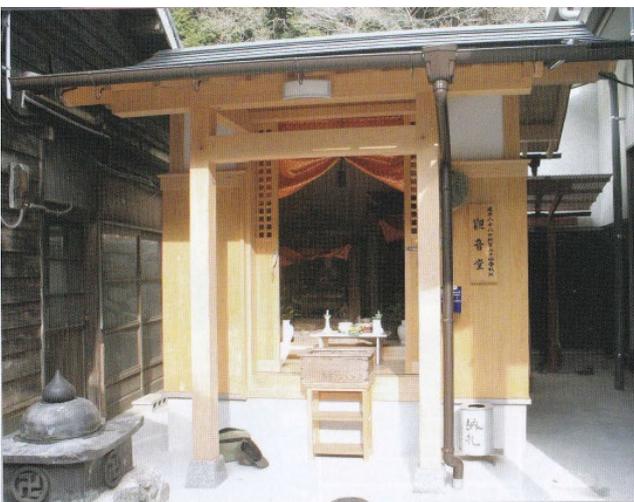


三穂神社本殿

境内に2代目大洲藩主・加藤泰興(月窓)を祀った御零社があり、毎年加藤泰興公を忍んで「月窓祭」を盛大に行っている。中江藤樹も幼少期に柳原へ来住し、学問に勤しんだ。

境内に学問の神様の菅原道真公を祀った太宰府天満宮より勧請した天満宮があり、年初めには受験生や保護者たちで大変賑わっている。

## 河野地区内の風早八十八か所



第24番札所 観音堂 横谷

本尊 十一面観世音菩薩



第25番札所 善応寺(地藏堂) 善応寺

本尊 釈迦如来



第26番札所 大師堂 河野高山  
本尊 弘法大師



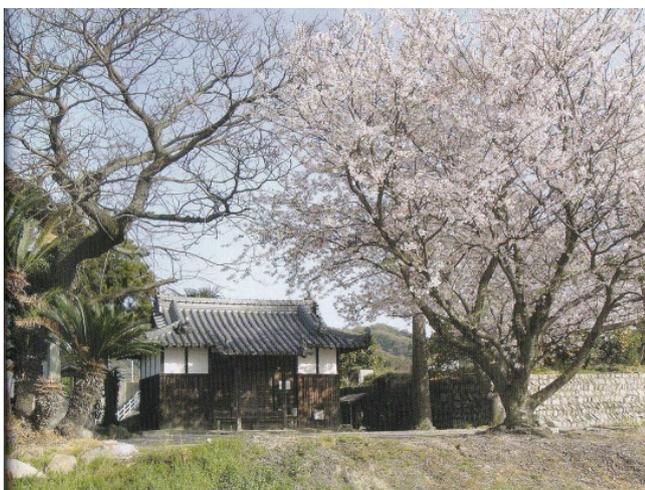
第27番札所 浮量堂 佐古  
本尊 (不詳)



第28番札所 地藏堂 佐古  
本尊 沙界霊



第29番札所 観音堂 夏目  
本尊 千手観世音菩薩



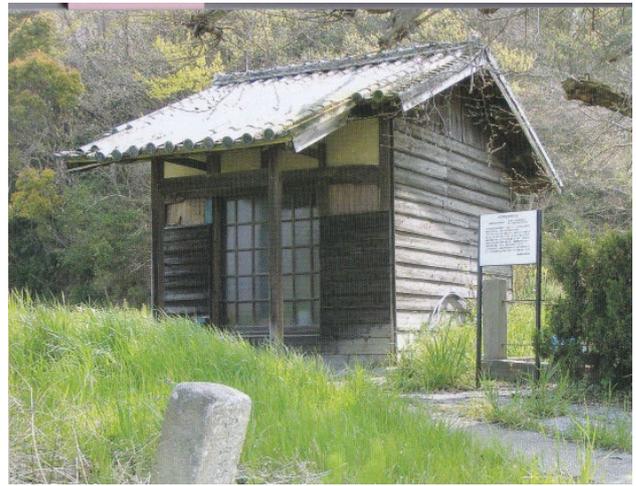
第41番札所 薬師堂 河野中須賀  
本尊 薬師如来



第42番札所 行山庵 片山  
本尊 阿弥陀如来



第43番札所 常光庵 常保免  
本尊 千手観世音菩薩



第44番札所 名光堂 宮内  
本尊 十一面観世音菩薩



第45番札所 善弘庵 河野別府  
本尊 不動明王



第46番札所 一心庵 柳原  
本尊 千手観世音菩薩



第47番札所 大師堂 柳原  
本尊 阿弥陀如来

参考文献

- 神社の写真はインターネット検索から引用
- 八十八ヶ所の写真は風早歴史研究会発行の冊子から引用

# 河野地区地域福祉計画策定委員会の開催状況

## 1.委員会メンバーの選定

14ページに掲載

## 2.策定委員会の開催

策定委員により話し合い、各事業の評価と課題をあらいだし、5年計画を検討。

名称		開催日時	参加者	内容	場所
策定委員会	第1回	R6.6.10 10:30~11:30	策定委員 8名	地域福祉活動計画について 役員の選任について	河野公民館
	第2回	R6.7.11 10:30~11:30	策定委員 11名	計画書表紙の検討 5年計画の協議 内容の検討	
	第3回	R6.8.29 10:30~11:30	策定委員 9名	5年計画の協議 内容の検討	
	第4回	R6.9.17 10:30~11:30	策定委員 12名	5年計画の協議 活動計画書全体の構成・ 内容の検討	
	第5回	R6.12.14 13:00~14:00	策定委員 8名	活動計画書の最終確認	

個々の事業等を一つ一つ委員長が説明し、メンバーによるワークショップ方式で実施。



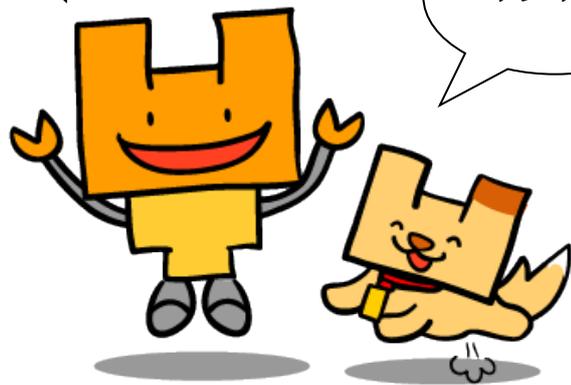
## 河野地区地域福祉活動計画策定委員会名簿

No	役 職	氏 名	備 考
1	委員長	渡部 秀司	地区社協会長
2	副委員長	新田 哲夫	地区社協副会長、区長会長、柳原区長
3	副委員長	川口 美恵子	地区社協事務局長、地区民児協会長
4	書 記	久保田 允干	地区社協啓発調査部長
5	委 員	田坂 綾子	地区社協会計、河野公民館補助職員
6	委 員	石橋 照美	地区社協援護部長、主任児童委員
7	委 員	野村 幸弘	地区社協顧問、河野公民館長
8	委 員	松浦 鈴子	民生児童委員
9	委 員	野本 晴夫	河野公民館館長補佐
10	委 員	阪本 吏寛	まちづくり協議会会長、横谷区長
11	委 員	黒川 理恵	まちづくり協議会事務局、主任児童委員



河野地区って  
いいところやねえ

ワンワン!



## 河野地区第2期地域福祉活動計画

発行：河野地区社会福祉協議会

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域福祉課

〒790-0808 松山市若草町8番地2 松山市総合福祉センター内

Tel 089-941-3828/FAX 089-941-4408

発行日：令和6年3月